

実施者：石川県輪島市

■ 取組内容

輪島市では市内における創業の促進と賑わい創出や空き店舗対策のため、市内の空き店舗、空き家、土蔵等の遊休施設を活用して新たに小売業、飲食業、その他サービス業を始める方に対して補助金を交付します。

制度概要

○対象者

輪島市内の空き店舗、空家等を活用し、新たに小売業、飲食業その他サービス業を営む方

○支援の内容

- ①店舗の改修、備品等購入
補助率1/4 (上限30万円)
 - ②店舗の購入費または賃貸料
補助率1/4 (上限30万円)
 - ③広告宣伝費
補助率1/4 (上限5万円)
- ※最大65万円を支援します。



<空き店舗活用の支援例>

業種：飲食店

場所：輪島朝市通り

★ポイント・工夫

- ・創業支援と同時に空き店舗対策やまちなかの賑わい創出につながる施策である。
- ・3年以上の事業の継続、地域振興への協力、周辺景観配慮等を補助金交付の条件としており、地域の持続的な発展に寄与する事業に対する支援が可能。

★課題

- ・開業後も、経営等の状況を把握し、相談できる体制づくりが必要。
- ・市での独自の事業性判定が必要。

★成果

H27年度4件、H28年度2件の新たなお店が開業（空き店舗の解消）。

(参加者の声)

- ・補助金を活用した事により、初期投資が抑えられ、安定した運営ができる。

■取組の背景・地域的特徴

能登半島の北西にある輪島市は、豊かな緑と海に囲まれた人口約3万人の町です。中世に曹洞宗の本山「總持寺」が開かれ、北前船の世紀には「親の湊」と呼ばれ海上交通の要衝として栄えるとともに、江戸中期以降は漆器業（輪島塗）が盛んになりました。

現在、「漆の里」「禅の里」「平家の里」の3つの里構想を前面に、町の魅力を発信しています。

平成27年3月には北陸新幹線金沢が開業し、輪島市の観光入込は3割程度増加しております。

しかし、本市の高齢化率は県内でも高く、経営者の高齢化や後継者不足に加え、平成19年の能登半島地震がきっかけで空家が目立つようになりました。空家を減らし、観光資源に恵まれた本市に街の賑わいを呼び戻すために本支援事業を開始しました。



輪島市街地<上空より>

支援担当者からのメッセージ

輪島市で空き店舗等を活用して、開業してみませんか？輪島市が初期投資費用を支援し、あなたのやる気を後押しします。どんなことでもお気軽にご相談ください。



輪島市 漆器商工課
商工係長 新甫 裕也

【実施主体概要】

石川県輪島市
担当課：漆器商工課
住所：石川県輪島市二ツ屋町2字29番地
電話番号：0768-23-1147
HP：<http://www.city.wajima.ishikawa.jp/>

【石川県輪島市】 創業支援事業計画認定内容の概要（平成27年5月20日認定）

認定連携
創業支援事業者

輪島市、輪島商工会議所、門前町商工会

創業支援策

- ・ワンストップ窓口の設置
- ・実践創業塾
- ・専門家派遣